

住宅街（朝）森川颯太（16）乗っ制服姿でリュックを背負い、自転車のシートにきて、右側から自転車が来る。止める。

同（颯太の妄想）
 右側かから太
 に方向をうつ
 走らせ、颯太
 が来る。颯太
 が、ハ、太、
 立ち上る。そ
 て、車で来る
 シ、ン、の、
 着地す。前の
 轢ち、て、颯
 た、ち、て、颯

同（朝）
颯太、交差点で片足をついてサドルに座
つてゐる。車は既に通り過ぎてゐる。颯
太、ハツとして、自転車を走らせる。

△△駅・駐輪場（朝）
颯太、定期利用の範囲に
走つて駅に向かう。電車、
自転車を停めて来

同・改札口（朝）
颯太、走って来て、
走って行く。定期で改札を通り、

同・一番乗り場（朝）
電車の一扉は開いている。颯太、走って電
車に乗ろうとする。電車から一人のサ
ラリーマン、走って出てくる。

2/4ページ

間を書き始める。颯太、ゆっくりと後ろ

○

同・同（朝）
颯太、腰を低くして窓際の一番後ろの席

すとかう。生徒たち、颯太を見ても書く

き終わって、振り向こうと黒板の文字を書く

ついで走って自分の席に座り、何事もなか

先生「6限が始まったからすぐ放送流れるから、

生徒「何するんすか？」
廊下に整列して、グラウンドに全員で

出る。まあでも、絶対に時間余るから、

そのあとは席替えでもしようか。後ろの方の席

前の生徒、渋っている。喜ぶ。颯太、後ろの方の顔

先生「じゃあ、頼むな」
を出て行こうとする

先生「立ち止まり、3回目やから昼休み

に職員室来てな。3回目やから昼休み

颯太「（恥ずかしそうに）最悪や」

○ 同・職員室
颯太、入って来て、

颯太「先生、颯太、入って来て、

先生「お、颯太、入って来て、

先生「3回目やな？」

先生「次は、家に電話やで」

先生「次は、家に電話やで」

